

【担当教員名】 相場恵美子	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

脳性麻痺による障害は運動障害が主体ですが、近年の産科学や新生児医学の進歩により、重複障害が増えてきています。
発声発語面や摂食嚥下面に限らず、知的発達から広くコミュニケーションに関わるものへと変化してきた言語聴覚士の脳性麻痺児に対する取り組みについて学びます。

【学習目標】

- ・脳性麻痺の運動特徴について理解する。
- ・脳性麻痺に由来する言語聴覚障害の特徴を把握し、訓練および援助の方法を学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO 番号	学習方法・担当教員
	1	脳性麻痺とは		
2	脳性麻痺の運動特徴	正常運動発達と脳性麻痺児の運動特徴		講義(相場)
3	脳性麻痺に伴う言語聴覚障害	運動障害に由来する言語障害		講義(相場)
4	障害の特徴	関連、重複障害		講義(相場)
5	治療の流れ	言語聴覚障害の訓練		講義(相場)
6	脳性麻痺児の臨床	治療の実際(1)		講義(市島)
7	脳性麻痺児の臨床	治療の実際(2)		講義(市島)

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格>
教科書				
参考書	小児の神経と発達の診かた	前川喜平	新興医学出版社	1995 -
	リハ医学全書脳性麻痺	五味重春	医歯薬出版	1989
その他の資料				

【評価方法】

- 平常の学習状況
- 定期試験

【履修上の留意点】

- ・市島・相場の分担講義となる予定